

## 第 8 回香村賞ビジネスプラン応募用紙

応募部門	<input type="checkbox"/> ビジネスプラン部門 <input type="checkbox"/> わかやま創生プラン部門				
応募プランのタイトル					
応募者氏名	区分	大学名・学部／研究科	学年	学生番号	氏名
	<input type="checkbox"/> 和歌山大学・在学生 <input type="checkbox"/> 和歌山大学・卒業生 <input type="checkbox"/> 紀の国大学 参加・協力校				
	<input type="checkbox"/> 和歌山大学・在学生 <input type="checkbox"/> 和歌山大学・卒業生 <input type="checkbox"/> 紀の国大学 参加・協力校				
	<input type="checkbox"/> 和歌山大学・在学生 <input type="checkbox"/> 和歌山大学・卒業生 <input type="checkbox"/> 紀の国大学 参加・協力校				
	<input type="checkbox"/> 和歌山大学・在学生 <input type="checkbox"/> 和歌山大学・卒業生 <input type="checkbox"/> 紀の国大学 参加・協力校				
	<input type="checkbox"/> 和歌山大学・在学生 <input type="checkbox"/> 和歌山大学・卒業生 <input type="checkbox"/> 紀の国大学 参加・協力校				
代表者連絡先	電話				
	メール				

※平成 29 年度から、香村賞ビジネスプランにこれまでの「ビジネスプラン」部門に加えて、「わかやま創生プラン」部門が創設されました。この部門には、在学生だけでなく卒業生も応募可能です。また、和歌山大学生に紀の国大学参加校・協力校の在学生を含むグループでの応募も可能となりました。

## 【応募方法】

本応募用紙とプラン記入用紙の両方を、2017 年 10 月 12 日までに下記メールアドレスまで応募ください。

kamura-prize@center.wakayama-u.ac.jp

【件名】香村賞ビジネスプランへの応募（代表者氏名）

## 【記入の注意事項】

- 1) 同一の個人・グループによる両部門への応募は可能ですが、同一内容での応募はできません。
- 2) グループでの応募の場合は、代表者を枠内の最上段に記載してください。枠が足りない場合は追加してください。
- 3) 卒業生の場合は、「大学名・学部／研究科」の欄に最終学歴を、「学年」の欄に卒業／修了年度をご記入ください。
- 4) 紀の国大学 参加校・協力校とは、大阪市立大学、大阪府立大学、摂南大学、和歌山工業高等専門学校、和歌山信愛女子短期大学、関西大学、近畿大学、和歌山県立医科大学であり、この在学生が応募対象となります。

香村賞ビジネスプラン ビジネスプラン部門 プラン記入用紙

代表者氏名	
応募プランの タイトル	

1. プランの具体的内容

<p>①プランの内容</p> <p>プランの具体的な内容、コンセプト、思いついたきっかけ。学生ならではの着眼点やチャレンジ精神があるか、学生らしい夢のあるプランであるか。</p> <hr/>
<p>②プランの新規性、独創性</p> <p>すでに同種の商品が市場化されていないか。市場化されていれば、それとの違いはどこにあり、どのような新規性があるのか。プランは他の事業・商品・サービスとは類似なく、独自の発想に基づいたものか。</p> <hr/>

【ビジネスプラン部門】

2. プランの市場性

①顧客のニーズ

どのような顧客のニーズに応じて、どのような商品・事業・サービスを提供するのか。想定している顧客は細分化されて、焦点が絞られているか。その顧客は何に魅力を感じ、顧客が得る満足・効用はバランスするか。

②競争他者との比較

既存のどの商品・事業・サービスと競合するか、代替するか。あるいは、補完するか、結合するか。同種商品と比較してどんな特徴をもっているか。品質、コスト、イメージ、アフターサービスにおいて競争力はあるか。後から参入してくる競争業者に対抗できるか。

3. プランの実現性

①将来性

自分たちの現状や課題を的確に理解しているか、実現に必要な事項への取り組み意欲はあるか。想定する顧客の購買力の成長性はあるか。

②採算性

採算計画は妥当な根拠に基づいているか。販売単価やコスト、経費計画に見落としや甘さはないか。採算ラインに達するまでに要する期間はどれくらいか、その間に必要な資金はどうするのか。技術開発や設備投資に多額の資金が必要か。借入れ必要額は大きいのか。借入金の返済は可能か。

③事業推進・商品開発にあたっての課題・問題点とその克服

プランは技術的、経営的に実現可能なものであるか。自分の能力だけで解決できないとすれば、打開の方法はどうか。

※各項目とも文字数の制限はありませんので、ページ数を増やしてください。なお、応募したプランの内容については、本賞に関するもののみで使用します。応募プランは、発表することに同意したものとして取り扱います。詳しくは、募集要項で確認してください。

香村賞ビジネスプラン わかやま創生プラン部門 プラン記入用紙

代表者氏名	
応募プランの タイトル	

1. プランの具体的内容

<p><b>①プランの内容</b></p> <p>プランの具体的な内容、コンセプト、思いついたきっかけ。和歌山県内あるいは全国的な位置づけ、優位性・固有性・希少性などの特徴や利活用する上での課題・問題点・持続可能性などを把握しているか。和歌山県内のどのような地域課題に対して、地域資源を活かした地域を活性化するビジネスプランになっているか。</p>
<p><b>②プランの新規性、独創性</b></p> <p>すでに同種の商品が市場化されていないか。市場化されていれば、それとの違いはどこにあり、どのような新規性があるのか。プランは他の事業・商品・サービスとは類似なく、独自の発想に基づいたものか。</p>

## 2. プランの市場性

### ①顧客のニーズ

どのような顧客のニーズに応じて、どのような商品・事業・サービスを提供するのか。想定している顧客は細分化されて、焦点が絞られているか。その顧客は何に魅力を感じ、顧客が得る満足・効用はバランスするか。

### ②競争他者との比較

既存のどの商品・事業・サービスと競合するか、代替するか。あるいは、補完するか、結合するか。同種商品と比較してどんな特徴をもっているか。品質、コスト、イメージ、アフターサービスにおいて競争力はあるか。後から参入してくる競争業者に対抗できるか。

## 3. プランの実現性

### ①実現性

地域の自治体、地域住民、NPO・任意団体などとの連携、協力はえられるか。地域資源（自然資源、観光資源など）の持続可能性と維持管理への配慮がなされているか。

### ②採算性

採算計画は妥当な根拠に基づいているか。販売単価やコスト、経費計画に見落としや甘さはないか。採算ラインに達するまでに要する期間はどれくらいか、その間に必要な資金はどうするのか。技術開発や設備投資に多額の資金が必要か。借入れ必要額は大きいのか。借入金の返済は可能か。

### ③事業推進・商品開発にあたっての課題・問題点とその克服

プランは技術的、経営的に実現可能なものであるか。自分の能力だけで解決できないとすれば、打開の方法はどうか。

※各項目とも文字数の制限はありませんので、ページ数を増やしてください。なお、応募したプランの内容については、本賞に関するもののみで使用します。応募プランは、発表することに同意したものと取り扱います。詳しくは、募集要項で確認してください。